

議会だよりすその



深良小ゴジラ山復活プロジェクト

題字制作

東西公民館書道講座
青山 幸枝さん

12月定例会

令和8年2月号

No.162

発行:裾野市議会

主な内容

- ・12月定例会の審査内容
- ・一般質問で市政を問う
- ・議会のあり方検討特別委員会まとめ

1億2,900万円の増額

補正予算

総務分科会

債務負担行為補正

(財政課)

問 今回提出された債務負担行為補正の25件中22件は、年度当初に開始するためとしているが、4月1日から業務開始か。

答 個別の業務時期は担当課ごとに異なるが、年度当初の業務開始は必要と考えて計上している。

包括施設管理委託契約(※1)の 今後は? (公共施設経営課)

問 長期継続契約のコスト削減の可能性もあるが、単年度契約で生じる損失額や差額は試算しているか。

答 個別の施設の詳細な比較はしていない。包括委託管理委託への移行を考えた措置である。

厚生文教分科会

生活保護費の大幅増額 (総合福祉課)

問 前年同時期と比較して3倍以上に増額されているが、その要因は。

答 対象世帯は138世帯から160世帯に増加しており、特に高額医療を必要とする対象者の増加などで医療扶助が伸びていることが大きい。

未満児用プールの購入 (幼稚園・保育園課)

問 東保育園3歳未満児用プールは、どのような状況にあったか。

答 テープで補修しており、安全上の問題はなかったが、応急的な処置であったため、購入することとした。

産業建設水道分科会

通信埋設管路の移転補償 (駅周辺整備課)

問 通信埋設管路の移転補償の繰越明許費6,035万円はどのような負担割合となっているか。

答 平成11年締結の協定に基づき、市と事業者で折半した額となっている。

(仮称)御師公園用地の購入 (みどりと公園課)

問 (仮称) 御師公園整備での公有財産購入費を減額し4,981万円となったが、金額は用地購入の額そのものか。

答 御師公園整備のための用地購入費である。

予防保全のための工事 (産業観光スポーツ課)

問 ヘルシーパーク裾野のあしたかの湯のろ過装置は、当初予算要望時点で既に故障していたのか。

答 当時は故障には至っていなかった。

新しい入札方式導入 (駅周辺整備課)

問 ウーブン・シティにつながる市道 1264 号線橋梁上部工新設工事の入札方式は。

答 施工体制確認型総合評価落札方式(※2)の採用を予定している。

その他の議案

乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)条例の制定(幼稚園・保育園課)

問 実施園や利用上限など条例の詳細は。

答 市立の西保育園とふからこども園で実施予定である。利用は国の基準通り月10時間までとするが、週1回2時間ずつなど、柔軟に利用できる形を想定している。

(※1) 包括施設管理委託契約…複数の公共施設の維持管理業務(清掃、警備、設備点検・保守など)を、一括して専門知識を持つ民間事業者に複数年にわたって包括的に委託する手法。

(※2) 施工体制確認型総合評価落札方式…価格のみならず施工体制の確実性を含め総合的に評価することで、適正な品質の確保と過度な低入札の防止を図る方式。



12月定例会の審議議案と結果全会一致の議案

議案番号	議案内容	結果
報第14号	専決処分 交通事故に係る損害賠償の額の決定及び和解(専決第12号) 消防団の放水訓練のため市道2117号線上の消火栓付近で消防ポンプ車を後退させたところ、車両左側後方部が住宅の外構フェンスに接触し、当該フェンスが損傷したため、令和7年8月27日に専決処分した。	了承
承認第6号	専決処分 令和7年度一般会計補正予算(第4回)(専決第13号) 市民文化センター大ホールスプリンクラー事故に係る訴状を受領したことに伴い、訴訟代理人を選任する必要性が生じ、これに係る費用を早急に予算措置を行うため、令和7年11月4日に専決処分した。	承認
第83号議案	市立幼保連携型認定こども園条例を制定 令和8年4月1日から新たに幼保連携型認定こども園として市立とみおかこども園、市立ふからこども園を設置、開園することに伴い、条例を制定する。	原案可決
第84号議案	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を制定 児童福祉法の一部改正による乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)に対応するため、市として施設設備や運営方法の基準を定めるため条例を制定する。0歳6か月から3歳未満の未就園児が、保護者の就労にかかわらず、月ごとの利用枠の範囲で保育所などを利用できる制度に向けて、必要な基準を定める。	
第85号議案	条例改正) 印鑑条例の一部を改正 電気通信事業法の一部改正に伴い生じる、同法引用箇所の号ずれを修正するため、本条例の一部を改正する。	
第86号議案	条例改正) 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正 児童福祉法の一部改正により、虐待対応の強化が図られたことに伴い、本条例の一部を改正する。	
第87号議案	条例改正) 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正 虐待対応強化に関連する見直しと乳幼児の健康診断に関する見直しのため、児童福祉法等の一部改正により、本条例の一部を改正する。	
第88号議案	条例改正) 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正 児童福祉法等の一部改正により、虐待対応の強化が図られ、本条例の一部を改正する。	
第89号議案	条例改正) 老人ホーム入所判定委員会設置条例の一部を改正 委員の条件を保健所長と限定せず、保健所長の推薦する県職員であっても委嘱可能とするため本条例の一部を改正する。	
第90号議案	条例改正) 土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正 宅地造成及び特定盛土等規制法の一部改正により静岡県内での規制が開始されたことに伴い、本条例の一部を改正する。	
第91号議案	公の施設の区域外設置及び利用に関する長泉町との協議 本市の公共下水道施設を長泉町の行政区域内に設置し、当該施設を長泉町の住民の利用に供することに関する協定書の一部を変更することを、長泉町と協議する。	
第92号議案	公文名堤地区の緊急防災工事計画の策定 公文名地内の公文名堤における、土地改良法による緊急の防災事業を行うため、緊急防災工事計画を定める。	
第93号議案	都市公園を設置すべき区域の変更 岩波駅周辺整備事業に伴い、本公園予定区域を約1,000㎡から約5,000㎡に変更し、都市公園の整備を図る。	
第94号議案	建設工事請負変更契約の締結(令和6年度 都市構造再編集集中支援事業市道1264号線橋梁下部工新設工事(曲線橋)) 令和7年9月1日議決を得た工事の精算変更に伴い契約金額をさらに1,745万7千円増額し1億8,656万円とする変更契約を締結する。	
第95号議案	建設工事請負変更契約の締結(令和6年度 市単事業市道1264号線道路新設工事) 令和6年12月5日に渡邊工業株式会社と請負契約を締結した工事の設計変更に伴い契約金額を1,879万1,300円増額し1億6,217万6,300円とする変更契約を締結する。	
第96号議案	令和7年度一般会計補正予算(第5回) 既定の予算総額に1億1,700万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ241億9,900万円とする。歳入の主な内容は、国庫支出金、生活保護費負担金など7,991万5千円増額。市債は2,120万円減額。歳出の主な内容は、民生費、生活保護費1億1,462万円増額。衛生費、福祉保健会館エレベーター改修工事など1,378万2千円増額。商工費、ヘルシーパーク裾野施設の維持管理など449万4千円増額。その他県費負担金の償還などの補正を行う。	
第97号議案	令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第3回) 既定の予算総額に211万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ46億8,100万7千円とする。内容は、国民健康保険財政調整基金積立金の増額。	
第98号議案	令和7年度介護保険特別会計補正予算(第2回) 既定の予算総額に502万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ43億6,973万1千円とする。内容は、税制改正などに伴うシステム改修など。	
第99号議案	令和7年度企業版ふるさと納税地方創生特別会計補正予算(第3回) 既定の予算総額に217万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ13億9,528万3千円とする。内容は、企業版ふるさと納税地方創生基金積立金などの増額。	
第100号議案	令和7年度水道事業会計補正予算(第2回) 量水器の購入のため債務負担行為を追加する。	
第101号議案	令和7年度下水道事業会計補正予算(第2回) 資本的収入の既決予定額に4,180万円を追加し資本的収入を3億4,355万3千円、資本的支出の既決予定額に4,400万円を追加し、資本的支出を5億5,755万円とする。内容は、管路築造工事による。	
議員提出議案第7号	条例改正) 議会委員会条例の一部改正 委員会の傍聴に関し必要な事項を定める議会委員会傍聴規程を新たに制定することに伴い本条例の一部を改正する。	

12月定例会で賛否が分かれた議案の概要と議員ごとの賛否内容

討論	裾野市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例を制定することについて討論がありました。				
修正案賛成	小林俊	原案賛成	増田祐二、小林浩文	修正案・原案反対	岡本和枝



※賛成は○、反対は●、数字は議席番号を表しています。 ※議長(井出悟)は同数以外、採決には加わりません。

議席番号 議員名	① 則武優貴	② 小林浩文	③ 大橋勝彦	④ 土屋主久	⑤ 勝又豊	⑥ 浅田基行	⑦ 木村典由	⑧ 増田祐二	⑨ 杉山茂規	⑩ 中村純也	⑪ 佐野利安	⑫ 二ノ宮善明	⑬ 三富美代子	⑭ 賀茂博美	⑮ 岡本和枝	⑯ 小林俊	⑰ 内藤法子	⑱ 勝又利裕	⑲ 井出悟	結果
議員提出議案第8号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	欠	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	-	修正案否決 賛成: 2 反対: 15
	修正案) 議員提出議案第8号修正動議 第5条の報酬の減額は議論が分かれた。原案では報酬の減額を最大100%としているが、議員報酬は生活給的な意味合いを持つ。減額率の幅は実務上の人事院規則による減額を考慮し、段階的に20%からはじめ最大50%の減額に留めるよう修正すべき。																			原案可決 賛成: 14 反対: 3
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	欠	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	-	
	原案) 議会議員の議員報酬等の特例に関する条例 議員が長期にわたって市議会の会議などを欠席した場合及び刑事事件として、逮捕、拘留された場合の報酬などの取扱いの必要な事項を定めるため、本条例を制定する。																			

※条例に関する内容は8ページをご覧ください。


14人が一般質問で市政を問う



きむら のりゆき
木村 典由

1. 指定管理者交代時の管理品質確保

問 指定管理者の交代時に、引継ぎ内容の標準化、初期管理の重点確認、苦情対応のルール化など、管理品質を確保する仕組みが必要では。

答 施設所管課ごとに協定書で引継ぎ項目を定め、担当者会議で共有を図る。交  総合グラウンド Bグラウンドの様子

代直後は通常以上に密なコミュニケーションを図り管理水準の確保に努める。年度内に関係部署を集め指摘事項を共有する。

2. 公共施設Wi-Fi整備と防災機能強化

問 地域イノベーション推進と防災対策の両面から、公共施設へのWi-Fi整備計画を策定すべきでは。

答 防災・集客の中核施設を優先することは重要と考える。関係部署と連携し「公共施設Wi-Fi整備・運用方針」の必要性を検討する。未整備施設の現状把握、優先順位の整理、停電時にも使える非常用電源の確保など、災害時にも機能する仕様を含めた計画的な対応が必要と認識している。



ないとう のりこ
内藤 法子

1. 自治会の加入率の低下について

問 自治会は地域社会の基礎基盤として機能している。加入率低下を防ぐために出来ることは。

答 自治会の脱退の理由として①加入メリットがわからない②役員負担が大きい③経済的な事情などがあるので、自治会活動の重要性について内容を工夫して情報発信する。区長業

務に関して負担があるとの意見は部課長に課題を共有した。

2. 熊の被害防止対策について

問 熊の被害防止のための猟友会支援と、市民の安全を守る施策は。

答 猟友会との連携を強化し、迅速かつ的確な対応が可能な体制の充実を図る。目撃情報の公表や広報を通じた注意喚起をする。熊を誘因するおそれがある残渣の適切な管理について周知啓発を一層強化する。国・県と緊密に連携し、市民の安全確保を最優先に対策を講じる。市の広報紙で猟友会の活動の特集記事として取り上げることを検討する。



みとみ みよこ
三富 美代子

1. 災害への備えについて

問 地震発生時の電気火災を防ぐために、一定以上の地震動を感知すると自動的に電気を遮断する「感震ブレーカー」の設置に対する補助事業導入の見解は。

答 地震火災予防の更なる取組みで「感震ブレーカー補助」を来年度から導入したい。また、市民の生命と財産を

守るため「防災ベッドの購入補助」も来年度から導入したい。補助制度により自助の支援に繋げていく。

2. 奨学金返還支援制度の導入を

問 令和7年度に県が「奨学金返還支援制度」を創設したことを受け、本市でも市内中小企業の採用力強化のため、制度導入を実施してはいかがか。

答 令和7年度中に事業者向け勉強会を通じて制度の周知を図りながら制度設計を進め、令和8年度からの実施を目指していく。本市としては、地元企業の人材確保と若者の定住促進に資する制度となるよう引き続き検討を進めていく。



おかもと かずえ
岡本 和枝

1. 国道越え射撃訓練を常態化させないために

問 1967年再建連盟と国との間で、「東富士演習場又はその周辺にミサイル等は持ち込まない」との確約が成立している。今回の訓練はこの確約に反しないか。

答 国からはミサイルではなくロケット弾と説明を受けている。国に対し改めて認識を問い直し、国からは「東富士

演習場周辺にミサイルを持ち込まないことが確認されていること」と確認していると回答があった。

2. 個人の尊厳が守られる生活保護の運用を

問 市ホームページ「生活保護」に関し、親族による扶養が利用の前提条件と誤解されかねない内容の掲載は改善されたか。

答 扶養義務やその他の疑問点は、「よくある誤解」として整理し、本年9月に掲載内容を見直した。申請者が活用できる資産や扶養を最大限活用することは努力義務だが、保護決定の絶対要件ではない。

14人が一般質問で市政を問う



おおし かつひろ
大橋 勝彦

1. 富士山資料館と須山地区資源の活用と連携

- 問** 現状のままでも始められる小規模展示や森林ウォークの拠点など「小さく始められる活用」を段階的に進めては。
- 答** 所蔵品を活用した新たな取り組みを進めつつ、森林ウォーキング拠点としての活用は、日時を決めての利用であれば可能と考えている。課題の解決方法も併せて検討したい。



あさだ もとゆき
浅田 基行

1. 富岡・深良地区のこども園化開園について

- 問** 両保育園施設は老朽化が進んでいるが、どのような施設で開園を迎えようとしているのか。
- 答** 富岡保育園では屋根の防水改修、テラスの塗装、建具や家具及びプールの改修を行い、10月に工事が完了。深良保育園では外壁及び屋根の改修、手洗い・足洗い場の塗装、内



のりたけ ゆうき
則武 優貴

1. 道の駅を核とした沿線活性化の推進

- 問** 千福が丘～深良南堀の沿線には交通空白地帯が点在しており、交通問題は道の駅基本計画の段階から併せて検討する必要がある。道の駅を核に、生活導線が未形成の区域をどのように再設計していくか。
- 答** 国では令和7年度から3年間を交通空白解消・集中対策期間とし支



かつまた ゆたか
勝又 豊

1. 食料品などの物価高騰の支援策

- 問** お米券は消費者にはお米を購入しやすくなり、生産者はお米の消費が維持でき、安定した生産に繋がるメリットがある。「おこめ券」をはじめとする食料品物価高騰への支援時期は、いつ頃を想定するか。
- 答** お米に限らず生活者の負担軽減と市内事業者への経済波

2. 卒煙の輪を広げ健康文化都市を前進しよう

- 問** 加熱式たばこのリスクは、日本禁煙学会では同居家族や子どもへの影響（受動喫煙）を含め、紙巻きたばこと同等の健康被害を引き起こす可能性があるという最新知見が報告されている。市の見解は。

- 答** 「煙が出ないから安全」という誤解は、喫煙開始や依存を助長するおそれがある。市では公式サイトを見直し、リスクを明確化し、「やめたい」と思った時にすぐ相談できる環境づくりを強化する。



装クロス改修をしており、1月に工事終了予定。また、富岡保育園は企業版ふるさと納税を活用し複合遊具を設置する。深良保育園は深良財産区からの繰入金による未満児向けの遊具を設置する。園児が安心安全に施設を使用できるよう準備する。

2. 学校教員研修「学びの森」の成果と今後の方針

- 問** 「学びの森」のあり方を考え直す必要があるのでは。
- 答** 研修機能を残しつつ役割の見直しを行っていく。また、学校教育のみならず、家庭教育・社会教育も含めた教育全体の見直しを図っていく。



援を実施。市ではこの支援を受け今年度須山地区で行う公共ライドシェアの実証結果を踏まえ、持続可能な交通の仕組みを展開できるか検討する。

2. 中央公園・五竜の滝の管理運用と夜間運用

- 問** 中央公園に隣接する千福橋の歩道が狭いため、園内の太鼓橋を通る迂回ルートにICT導入やソーラー照明の設置、足元整備をし、時間外に開放することは可能か。
- 答** 橋梁の拡幅には多額の予算が必要となる。利用者の安全を考慮すると、太鼓橋ルート以外を含めた公園の一定程度の範囲において照明の設置が必要と考えるが、ミニマムな対策で安全確保が可能か検証する。

及効果を含めた支援策になるよう補正予算及び新年度予算などを考慮し、可能な限り早期実施に努める。

2. 里山を整備し、人間とクマの住み分けを

- 問** 富士山麓にクマは生息し、毎年目撃情報が寄せられる。クマの習性や行動を理解し、備えを持って、クマと人が住み分け、共に安心して暮らすことができないか。
- 答** クマと人との共存は重要な課題であり、事故防止には人間側の注意と適切な対策が不可欠。人がクマと安全な距離を保ち、自然と調和した地域づくりを目指す。市民の安全確保を最優先に、国・県とも連携し、必要な対策を講じる。

14人が一般質問で市政を問う



すぎやま しげき
杉山 茂規

1. 新東中学校への安全な通学路の確保を！

問 公文名の子どものための新東中への通学ルートとして、旧東中に登り新東中へ降りるルートは現実的ではなく、また農免道路は危険である。安全な通学路の確保を。



滝頭交差点からの農免道路

答 農免道路を通学路とせず、西側の市道を南に下り、滝頭交差点に出るルートを一案と

して考えている。この案を東地区学校再編推進協議会で協議する。

2. 農地集約のため所有者の耕作意向調査を！

問 令和6年度実施した青地農地（※3）を対象とした耕作意向調査の回答率は半分程度であった。市内の農地を集約するために、青地農地で未回答の土地や新たに白地農地（※4）も含め意向調査を行い、集約に繋げてはどうか。

答 意向調査は、有効活用や地域計画の実効性を高めるうえで重要。可能な範囲で広域調査を目指しつつ、人的体制や予算の状況を踏まえながら調査エリアを絞り、段階的に実施する方法を検討する。



つちや きみひさ
土屋 主久

1. 集落地区の存続と学校の存続について

問 須山幼稚園のこども園化と小学校との一貫校化による特別な教育の早期導入と実現は。

答 須山・下和田地区は当市の重要な生活圏、地区計画を入れ優良な居住区域を整えていく。その上で、重要なのが教育と医療である。須山小の小規模特認校に特色ある教

育を導入することは大いに賛成であり、早急に地域の方々と協議し進めていく。こども園と小学校が連結したシームレスな教育ができるという環境も楽しい教育の一つと思っており、この整備なども進めていきたい。

2. 演習場隣接地区への砲撃音測定機の設置

問 砲撃音の影響を最も受ける須山及び下和田集落内に、砲撃音測定機器設置を国に強く求めるべきだが、市の考えは。

答 砲撃音が市民生活に与える影響を把握する必要があると考える。防衛省に砲撃音自動測定器の設置を要望する。



ますだ ゆうじ
増田 祐二

1. 裾野高校廃校への市の考え方は

問 北駿地区協議会（※5）の再編案に協議の中で反対の立場を示したか。また、県が廃校の方針の中で、市は存続の方向性にどのような展望を抱いているか。

答 協議会の場では地域の課題認識と方向性を共有する場として合意形成が図られたと捉えている。県との個別協議

の中で裾野高校の地域における役割を意見交換しながら方向性を見出していく。

2. 公共交通及び市民の移動の課題について

問 新たな公共交通として須山地区で公共ライドシェアの実証を始めるが、詳細は。

答 市から委託を受けた事業者が一般ドライバーを募り、須山支所と岩波駅を結ぶ経路で朝夕の電車で合わせて5便運行する。幼児無料、高校生までは0円から500円までの寄附制、一般は500円とし、1ヶ月の実証の後、効果測定を行う予定だが、他地域への展開も視野にいれて検討していく考えである。



こばやし ひろふみ
小林 浩文

1. 体験型観光と史跡等の活用

問 リピーターの確保につながる体験型の観光は、どのような状況か。

答 農業体験や地元食材を活用した料理づくり、歴史・文化資源と結びつけた体験など、五感に訴える多様なコンテンツの検討・開発を進め、訪れる方に「この場所だからこそ味わえ

る価値」を提供することで、深い感動と再訪意欲を喚起していく。体験型観光とスポーツツーリズムを観光戦略の柱として位置付け、滞在型観光の推進とリピーターの確保につなげていく。

2. 道の駅の事業スキームと市の財政負担

問 施設の維持管理運営費の市負担、総事業費に対する経済効果と財政負担の判断基準の考えは。

答 運営事業者からは、収益施設に係る施設利用料、賃貸料などを納めてもらうこともある。道の駅での観光振興や地域産業活性化効果などは定量化が難しいため、費用便益費で評価するのではなく、経済波及効果を算出して評価していく。

（※3）青地農地とは…開発行為や農地転用が制限されており、原則として農業以外での用途として使えない土地

（※4）白地農地とは…青地以外の農地で農地区分により農地転用許可の基準が異なる農地

（※5）北駿地区協議会とは…北駿地区(2市1町)高校のあり方を示すブランドデザインを作成。委員構成は県、市(町)長、教育長、保護者、産業界など。

各議員の一般質問を二次元コードから閲覧できます。

14人が一般質問で市政を問う



こばやし しゅん
小林 俊

1. 陸上競技場整備は8レーンが絶対必要である

問 公認更新が必要となる陸上競技場の曲走路整備を4レーンで計画しているようだが、4レーンでは試合に使えない。貴重な市民財産である8レーン公認競技場を約1億5千万円かけて壊すようなものだ。費用は約2億円かかっても、8レーン整備が絶対に必要な。目先の節約の問題ではない。

答 財政状況や関係団体の意見なども踏まえ設計を行った。

2. 地域活性化のためにも裾野高校は存続が必要だ

問 県教委が示した裾野、御殿場、小山の高校再編案はおかしい。この地域では旧制中学の時代から、沼津市、裾野市、御殿場市、小山町は一体の地域として若者が学び、通学して来ている。ある金融機関でも学校が遠ければ融資査定が悪くなるとの話を聞いた。歴史から考えて御殿場1校、裾野1校が妥当だ。終わったまち、になりたくなければ市を挙げて裾野高校存続を図ろう。

答 裾野高校は地域にとって不可欠な「社会基盤」だ。全力で協議していきたい。



かも ひろみ
賀茂 博美

1. 美化センター施設更新の方針について

問 施設更新に向けた、方針決定の時期と今後の予定、3市2町以外の広域化パターンの試算や評価で、市にとって有益な広域化を選択肢とするため、市が主体的に枠組みを構築することが重要であるが、当局の考えは。

答 美化センターは市民生活を支える重要なインフラであり、

財政問題と並び最重要課題の一つ。新施設への移行は令和14年以降となるため、維持修繕工事の延伸、施設閉鎖を決めて一時的な外部処理も検討していく必要がある。現時点では他の枠組みも検討する相手がいないため検討しようがない。

2. 財政の見通しと投資優先順位の明確化について

問 課題の先送りにより、将来の住民が過度な不利益を被らないよう、また現在の住民の利便性も最大限高める財政運営が求められる。公共施設更新の優先順位と判断基準の考え方は。

答 既に多くの公共施設が大規模修繕や改修、長寿命化の対象である。施設の統廃合や身の丈にあった公共施設管理や財政運営が可能となるよう判断していく。

議員定数について(議会のあり方検討特別委員会まとめ)

前回の議会日より(No.161)でお知らせしていた議員定数に関する議論は以下のような結論となりました。

議員間での議論、市民アンケートの結果など踏まえ、定数の議論を重ねてきたが、全会一致でまとめることができず、最終的に多数決で決める形となった。

多数決の結果：現状維持 11人 減らした方がよい 8人

次回改選時(令和8年10月予定)は、現状維持19人とする

あり方検討特別委員会は委員8名で構成し、令和5年6月12日から令和7年12月11日の報告まで、時に議会全体に諮りながら、全53回の会議で、主に以下の3点を議論してきました。

1. 政策形成の整備 → 議会運営委員会を中心に議論
2. 定数・報酬等のあり方
3. その他議会改革に付随する課題 → 議会運営委員会を中心に議論
情報発信は広報広聴委員会で議論

議会活動の活性化の土台となる市議会及び議員のあり方は、裾野市議会基本条例で不断に議論すべき事項と位置付けており、議員定数についても、議論項目の一つとして取り組みました。今後も「市民に開かれた議会」「議会活動の活性化」を目指し、議会改革に継続的に取り組んでいきます。



議会のあり方検討▲
特別委員会最終報告

裾野市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例を制定

平成 28 年に北九州市議会の議員が、病気で 2 年 4 か月の間、議会を欠席しましたが、その間、議員報酬と期末手当を全額受け取っていたことが問題視されました。それ以降、全国の市区町村議会で、議員が長期欠席となった場合の議員報酬などを減額する条例の制定や既存条例の改正が行われています。当市議会でも、議員が長期にわたって市議会の会議などを欠席した場合や、刑事事件の被疑者又は被告人として逮捕、勾留その他の身体を拘束される処分を受けた場合に、議員報酬や期末手当の減額、及び支給を一時停止するため条例を制定しました。



裾野市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の条文はこちらから

裾野市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例 (議員報酬の減額) 第5条 (抜粋)

号	長期欠席期間	減額割合
(1)	91日～180日	25/100
(2)	181日～270日	50/100
(3)	271日～365日	75/100
(4)	366日～	100/100

※議案の上程及び採決は3ページをご覧ください。



これまでの取組はこちらから

傍聴ありがとうございました

12 月定例会は 87 人の方が傍聴されました。いただいたご意見の一部を紹介します。

一般質問を遅れて Youtube で確認できるが、より迅速に確認するために同時中継が必要だと思います。
70 代 男性

傍聴の感想は二次元コードから提出する方法も検討してください。
60 代 女性

道の駅が産業振興、観光の拠点、まちの活性化を一体化した構想に聞こえるが、リスクと防災拠点の答弁がなかったのは残念でした。
60 代 男性

集落地域の少子高齢化について心配です。是非改善できるように対応お願いします。
30 代 女性

令和 8 年 2 月定例会 (予定)

※予定は変更する可能性があります。

2月20日	金	本会議	10:00～
2月25日	水	本会議	10:00～
		予算決算委員会	本会議終了後
2月26日	木	予算決算委員会 (総務分科会) 総務委員会	9:00～
2月27日	金	予算決算委員会 (厚生文教分科会) 厚生文教委員会	9:00～
3月2日	月	予算決算委員会 (産業建設水道分科会) 産業建設水道委員会	9:00～
3月3日	火	予算決算委員会 (現地視察)	13:30～
3月4日	水	予算決算委員会 (総務分科会)	9:00～
3月5日	木		

3月6日	金	予算決算委員会	13:30～
3月9日	月	予算決算委員会 (厚生文教分科会)	9:00～
3月10日	火		
3月11日	水	本会議	10:00～
3月12日	木	予算決算委員会 (産業建設水道分科会)	9:00～
3月13日	金		
3月16日	月		
3月17日	火	本会議 (一般質問)	10:00～
3月23日	月	予算決算委員会	本会議終了後
3月24日	火		
3月25日	水	本会議	10:00～

議会だよりすそのでは、誰もが「見やすく、読みやすい」ように細かい部分に配慮したUD (ユニバーサルデザイン) フォントを使用しています。

発行●裾野市議会 静岡県裾野市佐野 1059
E メール●gikai@city.susono.shizuoka.jp

編集●広報広聴委員会 ☎ 055-995-1839 (直通)
印刷●ナポー株式会社

